

おじゃまします！

本所は、魅力ある会議所づくりのため、職員が会員の皆さまを訪問し、本所へのご意見をお聞きし、制度や事業の一層のご利用を案内しています。立石義雄会頭も職員とともに、会員の皆さまを訪問しておりますので、その様子を報告いたします。



中嶋金属(株)

代表者 中嶋 哲也
住 所 京都市右京区西院清水町4
TEL 075-311-4267
Web <http://www.nakajimakinzoku.co.jp>
事業内容 金属表面処理、電気鍍金

高度なメッキ技術を活かした製品を説明する中嶋社長(右端)

(株)開化堂

代表者 八木 聖二
住 所 京都市下京区河原町通六条東入梅津町 84-1
TEL 075-351-5788
Web <http://www.kaikado.jp>
事業内容 金属製茶筒製造・卸売

八木社長(中央)、八木隆裕取締役(右)に、美しい茶筒や新たな用途を提案する商品をご説明いただきました



変化に対応し、新たな価値を生み出す知恵

中嶋金属(株)、(株)開化堂

社会構造や顧客ニーズの変化に、知恵を活かして対応することが重要です。今回は、技術や商品開発の強みに磨きをかけて変化に対応し、成長を続けている会員企業を訪問しました。

金や白金、銀などの貴金属メッキを中心に、高度なメッキ技術が強みとする中嶋金属(株)は、高性能、高付加価値製品の製造や低コストを追求するメーカーのニーズに、オンラインワンの技術とノウハウで応えておられます。創業当初は社寺や仏具関連など装飾品へのメッキをメインに、その後は京都南座や大阪城天守閣など文化財の大型部品、そして現在の主力である精密部品へと加工分野を拡大されてきました。「メッキに関することなら何でも対応できる専門企業として、新たな技術の開発に挑戦しています」と中嶋哲也社長。燃料電池に欠かせない白金触媒電極に代わる製品として、白金メッキ電極を開発し、「ものづくり日本大賞優秀賞(製品・技術開発部門)」を受賞するなど、その高い技術開発力で変化するニーズに応えておられます。

次に訪問した(株)開化堂は、明治八年創業の茶筒製造の老舗。茶文化の中心、京都で培われた伝統技術によって生み出される茶筒は、機能性と美しいデザインをもつ逸品です。「職人の手で、130余りの工程を経てつくりあげています」と八木聖二社長。こうした技術やデザインの知恵をもとに、現代のライフスタイルにあわせて、「珈琲豆」「バスタ」などを保管する商品や、筒を重ね合わせでできる商品などを積極的に開発し、最高級の日用品を求めるニーズに応えておられます。「異業種とのコラボレーションによる商品開発や、海外の出版社、デザイナーへの情報発信力を活かした販路拡大にも取り組んでいます」と八木隆裕取締役。オリジナルの知恵と創造性を発揮した商品で、新たな京都ブランドを発信されています。

訪問を通じて、立石会頭は、2社ともに「オンラインワンの知恵を磨き上げ、次なる成長を目指してイノベーションに挑戦している」と述べ、「知恵ビジネスへの支援をさらに推進し、変化への対応力をもって新たな価値、新たな顧客を創造する企業を多く生み出したい」と述べました。